

新型インフルエンザ・ ニュースレター@青森県

18th March 2013 Vol 3 Issue04

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

Inside This Issue

- I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等
- II. 新種のコロナウイルスのヒトへの感染
- III. インフルエンザの発生状況・研究報告など

I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等

◆1 WHOは、3月12日、2人の新たな鳥インフルエンザ(H5N1)確定患者の発生を発表。

2人の患者はいずれもカンボジアでの発生で、その状況等は、次のとおりです。

- 1人目の患者は、カンポット州に住む生後20ヶ月の男児で、2月6日に発症、18日に入院、翌19日に死亡。
- 2人目の患者は、カンポン・チャム州に住む35歳の男性で、2月8日に発症、13日に入院、25日に死亡。
- 2人の患者は、いずれも発症前に、病気又は死亡した家禽に曝露しています。

○ カンボジアでは、2013年に入り、9人の確定患者が報告され、うち8人が死亡しています。また、これらの患者は、同国南部にある5州からの報告となっています。

・ 調査では、これらの患者の周辺から新たな患者はないことから、感染鶏又は汚染環境への曝露による散発的な感染が示唆されています。↗

↗ ◆2 WHOは、3月12日、ヒト・動物に共通するインフルエンザの要約と評価を発表。

鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染

・ 2003年から2013年3月12日までに、15カ国から622人の確認患者が報告され、このうち371人が死亡。

○ 鳥インフルエンザA/H5N1の公衆衛生上のリスク評価：変更なし

非季節性インフルエンザのヒトへの感染

・ 米国又はその他の国での変異型インフルエンザA/H3N2の新たな確認患者の報告はありません。

○ 変異型インフルエンザA/H3N2の公衆衛生上のリスク評価：更なる患者及び小さなクラスター(感染集団)の発生が予想され、発生状況の監視が必要

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html

◆3 米国疾病管理センター(CDC)による、2011年8月～2013年3月9日の変異型インフルエンザA/H3N2患者状況は次表のとおりです。

期間	2011年8月～ 2012年4月	2012年7月～ 2013年3月
発生州数・累計患者数	5州 12人	12州 309人

前週(3月2日)までの状況からは変更なし

<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-case-count.htm>

II. 新種のコロナウイルスのヒトへの感染

◆ WHOは、2人の新たな新種のコロナウイルス確定患者の発生を発表。

3月6日発表分

- この患者は、69歳の男性で、2月10日に入院し、19日に死亡。

● 初期の調査によると、この患者は既に報告された患者との接触はなく、最近の旅行歴もないとされています。

3月12日発表分

- この患者は、39歳のサウジアラビア人男性で、2月24日に発症し、28日に死亡。

● 初期の調査によると、この患者は既に報告された患者との接触はないものの、他の曝露可能性も調査中。患者の居所を含む他の情報は提供されていません。↗

↗ ● サウジアラビア保健当局は、この患者も、発症前に農場に訪れたとしており、同じような知見はその他の14人の感染患者のうち少なくとも2人の患者について報告されています。

○ 新種のコロナウイルスによる患者が確認された2012年6月以降2013年3月12日までに、15人の感染患者が報告され、うち9人が死亡しています。

サウジアラビア: 感染患者8人(うち死亡6人)

カタール: 感染患者2人(うち死亡0人)

ヨルダン: 感染患者2人(うち死亡2人)

英国: 感染患者3人(うち死亡1人)

- ・ 15人の患者はすべて、居住や旅行を通じて、アラビア半島と直接的又は間接的に関連がありました。
- ・ また、英国で2013年2月に発生したクラスター(感染集団)によって、明らかなヒト-ヒト感染の発生や軽いつわりの場合もあることが判明しています。

http://www.who.int/csr/don/2013_03_12/en/index.html

III. インフルエンザの発生状況・研究報告など

WHO、2013/14シーズンのワクチン株を推奨

WHOは、2月21日、北半球における2013/14年のインフルエンザシーズンに向けて、次のワクチン株を推奨しました。

・ A/California/7/2009 (H1H1) pdm09 ・ A/Victoria/361/2011 (H3N2) ・ B/Massachusetts/2/2012

なお、2012/13シーズンにおいては、北半球のほとんどの地域で、A/H3N2ウイルス(香港型)が流行しました。

http://www.who.int/influenza/vaccines/virus/recommendations/2013_14_north/en/index.html

2009パンデミック、米海軍の艦船内の感染者のほとんどは無症状

2009年夏のパンデミック期に、米海軍の艦船乗務員で検査を受けた者の3分の1はインフルエンザに感染していたものの、その53%は発症しなかったという報告(3月18日)。これは、2009年のパンデミック前後に提供された海軍乗務員2000人の血清検体うち489人分の結果を報告したもの。なお、海兵隊では海軍より高い発症率でした。

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/irv.12100/abstract>